

高校日本史プリント (過去問類似)

中世 No.6

名前

得点

/10

問1 16世紀前半、室町幕府の権威が衰退するなか、日明貿易の主導権をめぐる有力守護大名同士の対立が激化した。1523年、明の貿易港において、堺商人と結んだ細川氏と、博多商人と結んだ大内氏が、派遣した勘合船の入港順などをめぐって武力衝突を起こした。この結果、大内氏が明との貿易の実権を独占することとなったが、この衝突事件を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 慶長の役 2. 寧波の乱 3. 文禄の役 4. 三浦の乱

問2 鎌倉幕府の執権北条泰時が、京都の六波羅探題や御家人たちに基準を示すために1232年に制定した、武家社会の慣習法や道理に基づいた最初の武家法は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 武家諸法度 2. 大内氏掟書 3. 六角氏式目 4. 御成敗式目

問3 1543年、ポルトガル人を乗せた中国船が漂着し、日本に初めて鉄砲が伝えられた、領主の時堯がこれを買取ったことで知られる九州南方の島はどこか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 口之津 2. 鹿児島 3. 島原 4. 種子島

問4 南北朝時代から室町時代にかけて、近畿地方などの先進地域において、農民たちが自衛や自治のために結成した自律的な村落共同体を何というか。この共同体では、神社の祭礼を運営する組織が結成され、人々は鎮守の社に集まって寄合を開き、一味同心の結束を誓い合った。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 散村 2. 荘村 3. 惣村 4. 郷村

問5 11世紀後半の東北地方では、前九年の役ののちに勢力を伸ばした出羽国の豪族の間で、一族の家督などをめぐる内紛が発生した。陸奥守であった源義家がこの内紛に介入し、最終的に彼に協力した人物が勝利を収めて奥州藤原氏の祖となった。この一連の戦乱を何というか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 保元の乱 2. 後三年の役 3. 前九年の役 4. 平治の乱

問6 室町時代の1428年、将軍の代替わりなどを契機として、近江の運送業者の蜂起から始まり、徳政 (債務破棄) を求めて京都やその周辺地域に波及した、日本史上最初の大規模な土一揆は何か。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 播磨の土一揆 2. 嘉吉の土一揆 3. 文正の土一揆 4. 正長の土一揆

問7 鎌倉幕府の5代執権である北条時頼は、幕府の権威を高めるとともに北条氏の執権政治を安定させるため、前将軍の藤原頼経を京都へ送還した。これに代わって、後嵯峨天皇の皇子として鎌倉に迎えられ、最初の皇族将軍となった人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 守邦親王 2. 宗尊親王 3. 惟康親王 4. 久明親王

問8 鎌倉時代において、叡尊やその弟子の忍性らは、殺生禁断などの戒律の復興を掲げるとともに、貧民や病者の救済、道路の修築や架橋といった社会事業を精力的に展開した。彼らが属し、戒律の遵守を重視した仏教の宗派は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 浄土宗 2. 真宗 3. 時宗 4. 律宗

問9 室町時代に活躍した画僧で、遣明船に同乗して明に渡り、本場の中国画風を学んだ。帰国後、日本の自然景観に即した独自の画風を確立し、『四季山水図巻』や『天橋立図』などの代表作を残した人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 雪舟 2. 明兆 3. 周文 4. 如拙

問10 鎌倉時代後期の1285年、得宗専制政治の強化にともない、得宗の私的臣下である御内人の発言力が増大した。このとき、幕政改革を進めようとした有力御家人の安達泰盛を霜月騒動で滅ぼし、実権を握った内管領は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 平政連 2. 平盛綱 3. 平禅門 4. 平頼綱

答え合わせ・解説 No.6

問1	答え 2 寧波の乱	1523年に明の貿易港である寧波で発生したこの武力衝突は、細川氏と大内氏がそれぞれ派遣した遣明船（勘合船）の優先権をめぐる起こった。事件後、大内氏が日明貿易の実権を独占することになったが、明側は管理を強化し、やがて貿易自体が衰退に向かう契機となった。
問2	答え 4 御成敗式目	北条泰時は、承久の乱後に複雑化した土地紛争などを公正に裁判するため、1232年に御成敗式目（貞永式目）を制定した。この法は京都の六波羅探題にも送られ、裁判の基準として活用された。
問3	答え 4 種子島	1543年、ポルトガル人を乗せた中国のジャンク船が九州南方の種子島に漂着した。この際、領主の種子島時堯がポルトガル人から火縄銃を購入したことで、日本に鉄砲とその製造技術が伝来した。この出来事は、のちの戦国時代の戦術や兵農分離、城郭の構造などに決定的な影響を与える契機となった。
問4	答え 3 惣村	南北朝期から室町期にかけて、農民たちが自衛や自治のために結成した共同体を惣村（惣）と呼ぶ。惣村では、鎮守の神社の祭礼を運営する宮座が結成され、寄合を通じて一味同心の結束が図られた。江戸時代の村や、古代の部民などとは異なる中世特有の村落形態である。
問5	答え 2 後三年の役	前九年の役ののち、奥羽地方で最大の勢力となった清原氏の一族内で内紛が生じた。陸奥守として下向していた源義家がこれに介入し、清原氏の一族であった藤原清衡を支援して勝利に導いた。この戦乱を後三年の役と呼び、勝利した清衡は平泉を拠点とする奥州藤原氏の繁栄の基礎を築くこととなった。なお、朝廷はこの戦乱を私戦とみなしたため、源義家には恩賞が与えられなかったが、これがかえって東国武士と源氏の結びつきを強める契機となった。
問6	答え 4 正長の土一揆	室町時代の1428年（正長元年）に、近江の馬借の蜂起をきっかけに発生した土一揆。徳政を要求して京都の土倉や酒屋、寺院などを襲撃し、私徳政が行われるなど近畿一帯に大きな影響を与えた。
問7	答え 2 宗尊親王	5代執権の北条時頼は、反北条勢力が前將軍の藤原頼経を担ぎ上げるのを防ぐために彼を京都へ送還し、1252年に後嵯峨天皇の皇子を將軍として迎えた。これにより、以後の鎌倉將軍は皇族から迎えられる皇族將軍の時代となった。
問8	答え 4 律宗	鎌倉時代には、叡尊や忍性といった僧侶が戒律の復興に努めるとともに、非人救済や架橋・道路整備などの社会事業を積極的に行った。彼らが属した宗派は律宗（真言律宗）であり、奈良の西大寺を拠点として活動を展開した。
問9	答え 1 雪舟	室町時代、禅宗の隆盛に伴い水墨画が発達した。画僧である雪舟は大内氏の支援を得て明に渡り、中国の絵画技法を吸収した。帰国後は日本の自然を写實的に捉えた独自の様式を大成させ、のちの日本絵画に大きな影響を与えた。
問10	答え 4 平頼綱	鎌倉時代後期、北条氏得宗の権力が絶大となる中で、得宗の家臣である御内人の代表（内管領）が幕政で大きな影響力を持つようになった。内管領であった人物は、御家人の地位向上や幕政改革を目指した安達泰盛と対立し、1285年の霜月騒動で彼を滅ぼして専制的な権力を握ったが、のちに得宗北条貞時によって滅ぼされた（平禅門の乱）。

高校日本史プリント (過去問類似)

中世 No.7

名前

得点

/10

問1 室町幕府において、将軍を補佐して政務を統括し、足利一門の有力守護大名である細川・斯波・畠山の3氏から交代で任命された役職を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 管領 2. 執事 3. 所司 4. 探題

問2 鎌倉幕府が、二度にわたる蒙古襲来ののち、九州地方の防衛強化や現地の御家人の統制・裁判業務を迅速に行うために、1293年に博多に設置した機関は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 京都守護 2. 奥州奉行 3. 鎮西探題 4. 長門探題

問3 1180年、平清盛が日宋貿易の拠点である大輪田泊に近い自らの本拠地へと、京都から一時的に都を移した出来事を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 福原遷都 2. 長岡遷都 3. 平安遷都 4. 平城遷都

問4 室町幕府8代将軍の妻である日野富子は、夫が政務を放棄した時期に幕政に関与し、大名らへの資金貸し付けなどの金融活動を行った。彼女が資金を貸し付けた「自軍の大名小名」が関与し、将軍の後継問題や守護大名の対立を背景に京都を中心に発生した、室町幕府の衰退を決定づけた戦乱は何か。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 永享の乱 2. 嘉吉の乱 3. 応永の乱 4. 応仁の乱

問5 室町時代には、交通や交易の要衝として多様な都市が発達した。伊勢湾に臨む港町であり、のちに東海道の宿駅や伊勢参詣の拠点としても栄えた都市の名称として正しいものを、次のうちから一つ選べ。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 博多 2. 桑名 3. 兵庫 4. 敦賀

問6 鎌倉幕府が1293年に博多に鎮西探題を設置し、北条氏一門を派遣して九州の御家人の統制や裁判業務、防衛強化に当たらせる直接の契機となった、13世紀後半にモンゴル帝国(元)とその属国である高麗の軍勢が日本に侵攻した事件を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 文永 2. 弘安 3. 元寇 4. 倭寇

問7 鎌倉幕府の初代侍所別当を務めた有力御家人が、第2代執権による権力集中に反発して1213年に挙兵したものの、敗死して一族が滅亡した事件を何というか。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 霜月騒動 2. 二月騒動 3. 和田合戦 4. 宝治合戦

問8 鎌倉時代には、新仏教の開祖の生涯や布教の足跡を描いた作品が数多く制作された。このうち、全国を巡行して踊念仏を広めた宗派の開祖の生涯を描き、当時の地方の市(市場)や庶民の生活、武士の館などの様子を写実的に伝えている、法眼円伊が描いたとされる絵巻物は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 春日権現験記 2. 一遍上人絵伝 3. 法然上人絵伝 4. 西行法師絵伝

問9 鎌倉幕府の5代執権である北条時頼は、幕府の権威を高めるとともに北条氏の執権政治を安定させるため、前将軍の藤原頼経を京都へ送還した。これに代わって、後嵯峨天皇の皇子として鎌倉に迎えられ、最初の皇族将軍となった人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 守邦親王 2. 宗尊親王 3. 惟康親王 4. 久明親王

問10 鎌倉幕府の滅亡後に開始された新政において、倒幕にともなう混乱から生じた膨大な土地争い(所領相論)を迅速に処理するために中央に設置されたものの、訴訟の殺到や裁定の混乱を招き、武士らの不満の一因となった裁判機関の名称を答えよ。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 記録所 2. 雑訴決断所 3. 武者所 4. 恩賞方

答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 1 管領	管領は室町幕府の将軍を補佐する最高職であり、足利氏の一門である細川氏・斯波氏・畠山氏（三管領）から選ばれた。鎌倉府は東国支配のために置かれた機関であり、御料所は幕府の直轄領を指す。
問2	答え 3 鎮西探題	蒙古襲来（元寇）ののち、鎌倉幕府は九州の防衛体制を強化し、現地の御家人に対する統制や領地訴訟などの裁判を迅速に処理するため、北条氏一門を長官とする機関を博多に設置した。これが鎮西探題であり、これにより北条氏による九州支配が強化された。
問3	答え 1 福原遷都	平清盛は、自らの経済的・軍事的基盤である瀬戸内海や日宋貿易の要港である大輪田泊に直結する摂津国の地へ都を移そうとした。しかし、源氏の挙兵などの情勢不安や、旧来の貴族・寺社勢力からの強い反発を受け、わずか半年ほどで京都へ戻ることとなった。
問4	答え 4 応仁の乱	日野富子が資金を貸し付けた「自軍の大名小名」が参加した戦いは、将軍後継問題や守護大名の対立から発展した応仁の乱です。富子の金融活動は、この戦乱において自派の経済的支援や幕府財政の維持という側面を持っていました。鎌倉公方の滅亡などの他の戦乱とは直接関係しません。
問5	答え 2 桑名	桑名は伊勢湾に臨む交通・交易の要衝として栄えた港町である。室町時代には、このような港町のほかに、一向宗の寺院を中心に周囲に濠や土塁を巡らせて形成された富田林などの寺内町や、社寺の門前に発達した門前町など、多様な都市が成立した。
問6	答え 3 元寇	13世紀後半、フビライ＝ハン率いる元と高麗の連合軍が2回にわたって九州北部に侵攻した。この未曾有の国難に対し、鎌倉幕府は九州の防衛体制を恒久化し、現地の御家人を強力に統制する必要に迫られたため、鎮西探題を設置した。
問7	答え 3 和田合戦	鎌倉幕府の初代侍所別当であった和田義盛は、第2代執権である北条義時による執権権力の強化に反発し、1213年に挙兵した。この戦いは和田合戦と呼ばれ、将軍源実朝を擁する北条氏によって和田一族は滅ぼされた。これにより北条氏の執権政治の基盤がさらに固まることとなった。
問8	答え 2 一遍上人絵伝	時宗の開祖である一遍の生涯や布教の旅を描いたこの作品は、鎌倉時代後期に一遍の弟子である聖戒が企画し、法眼円伊が作画したとされる。全国各地の景観や、備前国福岡の市に代表される当時の交易の様子、庶民や武士のリアルな生活実態が細かに描写されており、美術的価値だけでなく、中世社会史の貴重な歴史史料として高く評価されている。
問9	答え 2 宗尊親王	5代執権の北条時頼は、反北条勢力が前将軍の藤原頼経を担ぎ上げるのを防ぐために彼を京都へ送還し、1252年に後嵯峨天皇の皇子を将軍として迎えた。これにより、以後の鎌倉将軍は皇族から迎えらる皇族将軍の時代となった。
問10	答え 2 雑訴決断所	後醍醐天皇が開始した建武の新政では、倒幕後の混乱に伴う膨大な所領相論（土地争い）を迅速に処理するため、中央に雑訴決断所が設置された。しかし、処理能力を超えた訴訟の殺到や、天皇の綸旨（意思表示）が裁判結果を覆すなどの不公平な裁定により、武士や貴族の間で不満が高まる原因となった。なお、恩賞の処理を行う恩賞方や、京都の治安維持を担う武者所なども同時に設置されている。

高校日本史プリント（過去問類似）

中世 No.8

名前

得点

/10

問1 室町時代、応仁の乱の戦火を避けて薩摩に下り、守護大名の島津氏に招かれて朱子学を講じ、のちに薩南学派と呼ばれる儒学の学派を興した禅僧は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 万里集九 2. 桂庵玄樹 3. 義堂周信 4. 絶海中津

問2 室町幕府8代将軍の妻である日野富子は、夫が政務を放棄した時期に幕政に関与し、大名らへの資金貸し付けなどの金融活動を行った。彼女が資金を貸し付けた「自軍の大名小名」が関与し、将軍の後継問題や守護大名の対立を背景に京都を中心に発生した、室町幕府の衰退を決定づけた戦乱は何か。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 永享の乱 2. 嘉吉の乱 3. 応永の乱 4. 応仁の乱

問3 戦国大名の出自は多様であり、在地の領主である国人から台頭した毛利氏や、実力で主君を打倒した下剋上の例などが知られる。これに対して、甲斐の武田氏や駿河の今川氏のように、室町幕府から特定の令制国の軍事・行政権を認められていた伝統的な家系が、その権力を維持・強化して戦国大名へと移行したケースもある。この移行元の役職を何というか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 守護 2. 地頭 3. 代官 4. 探題

問4 室町幕府の将軍は、守護の勢力拡大を牽制し、自らの権力を維持するために独自の経済的・軍支的基盤を必要とした。将軍の直臣である奉公衆などに管理が委ねられ、幕府の財政を支えた将軍の直轄領を何と呼ぶか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 御料所 2. 蔵入地 3. 支配所 4. 幕府領

問5 鎌倉時代、紀伊国の荘園において、現地の武士による過酷な支配や暴力行為に対し、農民たちが領主である高野山にその非道を訴え出た、仮名交じり文で書かれた代表的な文書を何というか。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 美濃国茜部荘百姓申状 2. 若狭国太良荘百姓申状 3. 紀伊国阿氏河荘民訴状 4. 播磨国矢野荘百姓申状

問6 鳥羽上皇の皇女（暲子内親王）であり、父から譲られた膨大な荘園群を伝領して巨大な経済力を保持した。治承・寿永の乱期には、平氏打倒の令旨を発した以仁王の子を保護するなど、平氏政権と対立する政治的動向を示したことで知られる女性は誰か。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 平時子 2. 平徳子 3. 八条院 4. 平盛子

問7 室町幕府の支配力が衰え、地域権力が自立していく過程において、各地の戦国大名が自らの領国支配を強化し、家臣や領民を統制するために独自に制定した法を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 武家法 2. 本所法 3. 公家法 4. 分国法

問8 鎌倉幕府の5代執権であり、1247年に有力御家人である三浦泰村の一族を滅ぼす政変を引き起こして北条氏の権力を確立したほか、引付衆を設置して裁判の迅速・公正化を図った人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 北条時頼 2. 北条時宗 3. 北条泰時 4. 北条義時

問9 1970年代に朝鮮半島南西部の沖合で発見された沈没船は、大量の銅銭や中国製の陶磁器、行先などが記された木簡を積載しており、中世東アジアの海上交易の実態を示す重要な史料となった。この船は、京都の禅寺である東福寺の再建費用を調達するために元へ派遣された貿易船（寺社造営料唐船）であったと推定されている。この沈没船の名称として最も適当なものを答えよ。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 鷹島沈没船 2. 蓬莱沈没船 3. 珍島沈没船 4. 新安沈没船

問10 鎌倉新仏教の開祖の一人である日蓮が、前執権の北条時頼に提出した書物で、法華経を中心とする正しい信仰を立てなければ、内乱や外国からの侵略といった災難が起こると警告し、のちの元寇を予言したものとみなされた著作は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 立正安国論 2. 観心本尊抄 3. 坐禅用心記 4. 興禅護国論

答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 2 桂庵玄樹	応仁の乱を避けて地方に下った禅僧の一人である桂庵玄樹は、薩摩の島津氏に招かれて儒学（朱子学）を講じ、薩南学派の祖となった。彼は『大学章句』に訓点を付して出版するなど、儒学の普及に貢献した。
問2	答え 4 応仁の乱	日野富子が資金を貸し付けた「自軍の大名小名」が参加した戦いは、將軍後継問題や守護大名の対立から発展した応仁の乱です。富子の金融活動は、この戦乱において自派の経済的支援や幕府財政の維持という側面を持っていました。鎌倉公方の滅亡などの他の戦乱とは直接関係しません。
問3	答え 1 守護	室町幕府のもとで国ごとに置かれた軍事・行政の長である守護は、国内の武士を組織化して守護大名へと成長した。戦国時代になると、その地位や権威を背景にそのまま戦国大名へと脱皮する者が現れた。一方で、守護の代理である守護代や、在地の国人などが実力をつけて守護を圧倒し、戦国大名となる下剋上の動きも活発化した。
問4	答え 1 御料所	室町幕府は守護の勢力を牽制し、將軍の権力を担保するために、各地に將軍直轄領を保有した。これを管理したのが將軍の直臣である奉公衆であり、この直轄領は幕府の重要な財政基盤および軍事基盤となった。鎌倉幕府の関東御分国や江戸幕府の幕領（天領）など、他の武家政権の直轄領との区別が重要である。
問5	答え 3 紀伊国阿氏河荘民訴状	鎌倉時代、地頭の不法に対して荘園領主に直訴する動きが見られた。紀伊国阿氏河荘の農民が高野山蓮華乗院に提出したこの文書は、地頭の湯浅宗親による耳を切り髪を刈るなどの非道を、仮名交じり文で具体的に訴えたものとして有名である。
問6	答え 3 八条院	鳥羽上皇の皇女である暲子内親王（八条院）は、父から伝領した膨大な荘園群を背景に、院政期から鎌倉時代にかけて政界に強い影響力を持った。治承・寿永の乱においては、平氏打倒を掲げて挙兵した以仁王の子を保護するなど、平氏政権と対立する姿勢を明確にした。
問7	答え 4 分国法	戦国大名が領国支配のために定めた独自法を分国法（戦国法）と呼ぶ。これは幕府の守護領国制が崩壊し、大名が独自の権力で領国を統治する必要が生じた背景から生まれた。代表的なものに『今川仮名目録』や『塵芥集』などがある。
問8	答え 1 北条時頼	1246年に5代執権に就任した人物は、翌1247年に宝治合戦を引き起こして有力御家人の三浦泰村一族を滅ぼし、北条氏の権力を確立した。また、御家人たちの所領訴訟を迅速かつ公正に処理するため、評定衆の下に引付衆を新設するなど、内政の整備にも努めた。
問9	答え 4 新安沈没船	1976年に韓国全羅南道新安（シナン）郡の沖合で発見された沈没船は、1323年に中国（元）の慶元（寧波）を出港して日本へ向かう途中で沈没したとみられる。船内からは、東福寺や笠崎宮の造営・再建資金調達のための木簡、大量の銅銭、龍泉窯の青磁をはじめとする陶磁器などが引き揚げられ、当時の日元貿易の具体相を明らかにした。
問10	答え 1 立正安国論	日蓮が1260年に北条時頼に提出した上申書であり、法華経を正法とし、これを信じなければ災難が続くと警告した。のちの蒙古襲来（元寇）を予言したものとされ、日蓮宗の思想的基盤となった。

問1 室町幕府の3代将軍足利義満が開始した明との公式な貿易では、倭寇と正式な貿易船を区別するために、明から交付された特定の証明書が用いられた。この貿易を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 南蛮貿易 2. 勘合貿易 3. 日朝貿易 4. 琉球貿易

問2 中世の日本海交易において、津軽半島の十三湊を拠点として活動し、鎌倉幕府から蝦夷沙汰職に任じられて北方の管理や交易を統括したとされる武士の一族は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 山名氏 2. 安藤氏 3. 大内氏 4. 赤松氏

問3 室町幕府の3代将軍足利義満は、将軍権力を強化するために有力守護の勢力削減を図った。その一環として、周防など数力国の守護を兼ね、朝鮮や明との独自交易によって強大な経済力を有していた大内義弘が、1399年に堺で挙兵したものの幕府軍に滅ぼされた。この一連の出来事を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 嘉吉の乱 2. 応永の乱 3. 明徳の乱 4. 応仁の乱

問4 鎌倉時代には、新仏教の開祖の生涯や布教の足跡を描いた作品が数多く制作された。このうち、全国を巡行して踊念仏を広めた宗派の開祖の生涯を描き、当時の地方の市(市場)や庶民の生活、武士の館などの様子を写実的に伝えている、法眼円伊が描いたとされる絵巻物は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 春日権現験記 2. 一遍上人絵伝 3. 法然上人絵伝 4. 西行法師絵伝

問5 戦国時代に関東地方を支配し、本拠地である小田原に城下町全体を囲む大規模な外郭(総構)を築いて防衛力を高めたが、1590年に豊臣秀吉の包囲攻撃を受けて滅亡した戦国大名の一族は何か。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 上杉氏 2. 今川氏 3. 北条氏 4. 武田氏

問6 鎌倉幕府の実権を握った北条政子の政治的役割について、源実朝の世において実質的に彼女の世であったと記し、武家政権の誕生を「道理」の推移の観点から歴史的に位置づけた、天台座主の慈円が著した歴史書は何か。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 百鍊抄 2. 吾妻鏡 3. 愚管抄 4. 増鏡

問7 後醍醐天皇による建武の新政に反発した足利尊氏は、1335年に反乱を起こして翌年に京都を制圧した。このとき尊氏が擁立し、北朝の初代となった持明院統の天皇は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 光明天皇 2. 崇光天皇 3. 光厳天皇 4. 長慶天皇

問8 鎌倉幕府が、蒙古襲来ののちに九州の防衛強化や現地御家人の統制・裁判業務を行うために設置した鎮西探題は、現在の福岡県にあるどの都市に置かれたか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 敦賀 2. 尾道 3. 博多 4. 兵庫

問9 室町時代、寺社の造営や修理の費用を調達するために、庶民や武士から寄付を募る目的で催された能の興行を何というか。四本柱の舞台を取り囲む大勢の観客を描いた絵画資料が残されていることでも知られる。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 猿楽能 2. 勧進田楽 3. 勧進猿楽 4. 田楽能

問10 室町幕府において、将軍を補佐して政務を統括し、足利一門の有力守護大名である細川・斯波・畠山の3氏から交代で任命された役職を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 管領 2. 執事 3. 所司 4. 探題

問11 室町時代後期から戦国時代にかけて、明から輸入された銅銭のなかに、鑿銭(びたせん)と呼ばれる粗悪な私鑄銭が混じるようになった。これにより、取引の際に良質な貨幣を選び、悪質な貨幣の受け取りを拒否する行為が横行して流通が混乱したため、室町幕府や戦国大名がこれらを規制し、特定の貨幣の流通や取引比率を定めるために発布した法令を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 段銭令 2. 半済令 3. 徳政令 4. 撰銭令

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 2 勘合貿易	足利義満は明の皇帝から「日本国王」に封じられ、朝貢の形式をとる日明貿易を開始した。この貿易では、明から支給された「勘合」と呼ばれる割符が使用され、これを持たない倭寇などの密貿易船と区別された。この貿易を通じて、大量の銅銭が日本に流入し、国内の貨幣経済の発達を促すこととなった。
問2	答え 2 安藤氏	安藤氏（安東氏）は、鎌倉時代から室町時代にかけて津軽地方や秋田地方を本拠とした武士の一族である。鎌倉幕府のもとで蝦夷沙汰職（蝦夷代官）に任じられ、津軽半島の十三湊を拠点に日本海交易や蝦夷地との交易を支配し、北方世界との結びつきを強めて繁栄した。
問3	答え 2 応永の乱	足利義満は將軍権力の確立を目指し、土岐氏、山名氏などの有力守護を次々と挑発して没落させた。1399年には、西国で強大な勢力を誇り、日朝・日明貿易で富を蓄えていた大内義弘を堺で滅ぼした。これにより義満による守護抑圧策は一応の完成を見た。
問4	答え 2 一遍上人絵伝	時宗の開祖である一遍の生涯や布教の旅を描いたこの作品は、鎌倉時代後期に一遍の弟子である聖戒が企画し、法眼円伊が作画したとされる。全国各地の景観や、備前国福岡の市に代表される当時の交易の様子、庶民や武士のリアルな生活実態が細かに描写されており、美術的価値だけでなく、中世社会史の貴重な歴史史料として高く評価されている。
問5	答え 3 北条氏	関東を支配した北条氏（後北条氏）は、小田原城とその城下町を強固な総構で囲み、豊臣秀吉の小田原征伐に対抗した。秀吉による小田原攻めでは、圧倒的な大軍による包囲の末に北条氏は降伏し、滅亡した。なお、鎌倉時代の執権政治を行った北条氏と区別するため、後北条氏とも呼ばれる。
問6	答え 3 愚管抄	慈円が著した『愚管抄』は、道理の歴史的推移を説いた歴史書であり、源実朝の將軍期における北条政子の政治的実権を「尼の世」として実質的に評価している。
問7	答え 1 光明天皇	後醍醐天皇の建武の新政に不満を持つ武士たちの支持を得た足利尊氏は、1336年に京都を占領し、持明院統の豊仁親王を光明天皇として擁立した。これにより、吉野に逃れて正統性を主張する後醍醐天皇（大覚寺統）の南朝と、京都の北朝が並立する南北朝の動乱が始まった。
問8	答え 3 博多	鎮西探題は、蒙古襲来の防衛拠点であり、古くから大陸との交易の要衝でもあった筑前国の博多に設置された。これにより、博多は北条氏による九州支配の政治的・軍事的拠点としての性格を強めることとなった。
問9	答え 3 勧進猿楽	室町時代には、寺社の造営や修理の資金（勧進）を集めるために、勧進猿楽と呼ばれる能の興行が頻繁に行われた。この興行は、観阿弥・世阿弥親子らによって大成された能（猿楽の能）が、幕府の保護を受ける一方で、広く一般庶民や武士の間にも浸透していたことを示している。現存する絵画資料には、円形の観客席に囲まれた四本柱の能舞台上で演じられる様子が描かれており、当時の熱狂的な人気を伝えている。
問10	答え 1 管領	管領は室町幕府の將軍を補佐する最高職であり、足利氏の一門である細川氏・斯波氏・畠山氏（三管領）から選ばれた。鎌倉府は東国支配のために置かれた機関であり、御料所は幕府の直轄領を指す。
問11	答え 4 撰銭令	室町時代後期には、明銭のほかに国内で鑄造された粗悪な私鑄銭（鋳銭）が流通し、取引の際に良質な銭を選び出す行為が行われて経済混乱を招いた。これに対し、室町幕府や戦国大名は、特定の悪銭の流通禁止や、良銭と悪銭の交換比率を定める法令を出して、貨幣流通の安定を図った。

高校日本史プリント (過去問類似)

中世 No.10

名前

得点

/11

問1 南北朝時代から室町時代にかけて、近畿地方などの先進地域において、農民たちが自衛や自治のために結成した自律的な村落共同体を何というか。この共同体では、神社の祭礼を運営する組織が結成され、人々は鎮守の社に集まって寄合を開き、一味同心の結束を誓い合った。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 散村 2. 荘村 3. 惣村 4. 郷村

問2 室町幕府において、将軍を補佐して政務を統括し、足利一門の有力守護大名である細川・斯波・畠山の3氏から交代で任命された役職を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 管領 2. 執事 3. 所司 4. 探題

問3 室町幕府の将軍は、守護の勢力拡大を牽制し、自らの権力を維持するために独自の経済的・軍支的基盤を必要とした。将軍の直臣である奉公衆などに管理が委ねられ、幕府の財政を支えた将軍の直轄領を何と呼ぶか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 御料所 2. 蔵入地 3. 支配所 4. 幕府領

問4 室町時代に、京都などの都市において、酒屋とともに高利貸を営んで富を蓄え、幕府の重要な財源として課税対象となった、質物を保管する強固な倉庫を備えた金融業者を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 借上 2. 問屋 3. 酒屋 4. 土倉

問5 鎌倉時代、京都と鎌倉の間では文化的な交渉も行われた。後鳥羽上皇の院宣によって編纂され、和歌を好んだ将軍源実朝のもとにも届けられた、中世を代表する勅撰和歌集は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 新古今和歌集 2. 続古今和歌集 3. 新勅撰和歌集 4. 後拾遺和歌集

問6 源実朝の暗殺後に幕府と朝廷の対立が深まる中、1221年に院宣によって執権の追討が命じられたことを契機に発生し、結果として幕府の朝廷に対する優位を決定づけた兵乱は何か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 承久の乱 2. 元弘の乱 3. 嘉元の乱 4. 正中の変

問7 室町時代などの中世日本において、馬の背に荷物を載せて陸上の物資輸送を担った運送業者を何と呼ぶか。琵琶湖沿岸の坂本や大津などに多く居住し、しばしば土一揆の主力ともなった。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 馬借 2. 問屋 3. 問丸 4. 車借

問8 室町幕府の3代将軍足利義満が開始した明との公式な貿易では、倭寇と正式な貿易船を区別するために、明から交付された特定の証明書が用いられた。この貿易を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 南蛮貿易 2. 勘合貿易 3. 日朝貿易 4. 琉球貿易

問9 鎌倉時代に、交通の要地や寺社の門前などで、月に3回定期的に開かれた市場を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 六斎市 2. 三斎市 3. 四斎市 4. 三日市

問10 室町時代後期から戦国時代にかけて、明から輸入された宋銭や洪武通宝・永楽通宝などの銅銭が広く流通したが、同時に国内で鑄造された粗悪な私鑄銭も混入した。このため、人々が取引の際に良質な貨幣を選び、悪質な貨幣の受け取りを拒否する行為が一般化し、市場の混乱を招いた。この、良質な貨幣を選別する行為を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 鏝銭 2. 精銭 3. 撰銭 4. 悪銭

問11 13世紀前半の1223年に、京都から東海道を下って武家政権の本拠地へと旅した人物によって著された作品である。作中には、当時の交通事情や都市の様子に加え、船着き場に多くの商人が集まりにぎわう社会経済の状況が描かれており、中世の交通や庶民の生活を知る上で貴重な史料となっている、この紀行文の名称を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 海道記 2. 弁内侍日記 3. 東関紀行 4. 十六夜日記

答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 3 惣村	南北朝から室町期にかけて、農民たちが自衛や自治のために結成した共同体を惣村（惣）と呼ぶ。惣村では、鎮守の神社の祭礼を運営する宮座が結成され、寄合を通じて一味同心の結束が図られた。江戸時代の村や、古代の部民などとは異なる中世特有の村落形態である。
問2	答え 1 管領	管領は室町幕府の将軍を補佐する最高職であり、足利氏の一門である細川氏・斯波氏・畠山氏（三管領）から選ばれた。鎌倉府は東国支配のために置かれた機関であり、御料所は幕府の直轄領を指す。
問3	答え 1 御料所	室町幕府は守護の勢力を牽制し、将軍の権力を担保するために、各地に将軍直轄領を保有した。これを管理したのが将軍の直臣である奉公衆であり、この直轄領は幕府の重要な財政基盤および軍事基盤となった。鎌倉幕府の関東御分国や江戸幕府の幕領（天領）など、他の武家政権の直轄領との区別が重要である。
問4	答え 4 土倉	室町時代には貨幣経済の浸透に伴い、高利貸を営む金融業者が台頭した。質物を保管する倉庫を持っていたことからこの名で呼ばれ、酒屋とともに幕府の重要な財源として課税対象（土倉役・酒屋役）となった。
問5	答え 1 新古今和歌集	後鳥羽上皇の院宣によって編纂された『新古今和歌集』は、1205年に完成し、将軍源実朝のもとへも送られた。実朝は万葉風の歌を好んだことで知られるが、京都の貴族文化、特に和歌を通じて朝廷との結びつきを深めていた。
問6	答え 1 承久の乱	源実朝の暗殺によって源氏の将軍後継が途絶え、幕府と朝廷の緊張が高まりました。1221年、後鳥羽上皇は幕府の打倒を目指して執権の北条義時追討の院宣を下しましたが、幕府側は北条政子の呼びかけのもとで結束し、大軍を京都に送って朝廷軍を破りました。この兵乱により、幕府の朝廷に対する支配力が決定的に強まりました。
問7	答え 1 馬借	中世において、馬の背に荷物を載せて物資の運送を行った運送業者は馬借と呼ばれる。琵琶湖沿岸の坂本や大津などに多く存在し、物資の流通において重要な役割を果たした。彼らは組織的な行動力を持っていたため、徳政一揆（土一揆）の際にはその主力として活動することもあった。なお、牛の背に荷物を載せて運んだ業者は車借や牛借などと呼ばれる。
問8	答え 2 勘合貿易	足利義満は明の皇帝から「日本国王」に封じられ、朝貢の形式をとる日明貿易を開始した。この貿易では、明から支給された「勘合」と呼ばれる割符が使用され、これを持たない倭寇などの密貿易船と区別された。この貿易を通じて、大量の銅銭が日本に流入し、国内の貨幣経済の発達を促すこととなった。
問9	答え 2 三斎市	鎌倉時代には農業生産力の向上や貨幣の流通を背景に、荘園や国衙領の交通の便が良い場所で定期市が開かれるようになった。月に3回開かれるものはこのように呼ばれ、室町時代になると月に6回開かれる六斎市へと発展した。
問10	答え 3 撰銭	日明貿易などを通じて中国から大量の銅銭が流入したが、室町時代後期になると、国内で私的に铸造された粗悪な私鑄銭（鋸銭）が混じるようになった。人々は支払いの際に、割れや欠けのない良質な銭を選び、粗悪な銭を嫌う選別行為を行うようになり、これが円滑な取引を妨げたため、幕府や大名による規制が必要となった。
問11	答え 1 海道記	1223年（貞応2年）に京都を出発し、東海道を経て鎌倉に下った道中の様子を記した紀行文である。作者は未詳であるが、当時の宿駅の様子や、鎌倉の船着き場に集まる商人の活動など、鎌倉時代初期の交通や社会経済の実態を伝える貴重な歴史史料として位置づけられている。同様の鎌倉時代の紀行文には、1242年頃の旅を描いた『東関紀行』などがある。